

入選

自分のための親切

山口県 由宇小学校

6年 筑坂颯介

皆さんは、メジャーリーガーの大谷翔平選手がごみ拾いする理由を知っていますか。大谷選手は野球で信じられない成績を残すだけでなく、人柄のすばらしさについても注目されています。グラウンド上のごみを拾う姿は、その1つとして有名です。

初めてその様子をテレビで見たとき、ぼくはまだ低学年だったけれど、びっくりしました。プロ野球選手のそんな行動を、見たことがなかったからです。高学年になり、大谷選手がごみ拾いをする理由を知り、さらにびっくりさせられました。

「ごみは人が落とした運。ごみを拾うことで、運を拾うんだ。そして自分自身にツキを呼ぶ。」と話しているそうです。ごみを拾うということは、親切なことをしているように思いますが、大谷選手は「自分のためにごみを拾っている」と言っているのです。

たしかに、学校のそうじを一生けん命やったり、部屋の片付けをすると、気持ちがスッキリして、いい気持ちになります。でも、先生や周りの人に、ほめてもらいたいという気持ちもあります。自分のためにごみを拾うというのは、とてもおどろきました。

夏休みに、子ども会でラジオ体操の後に、公園のごみ拾いをしました。ぼくが友達と遊んだり、父や弟と野球の練習をすることもある公園です。いつもは気がつかなかったけれど、よく見てみると、はしの方や物のかげにお菓子のごみや、ペットボトルなどが落ちていました。

そうじは好きじゃないけれど、集まったごみを見ると、「きれいになったなあ」という気持ちになりました。お礼を言われたり、ほめられたりしたわけではないけれど、

「夏休みもまたこの公園で、野球の練習をやろう。」と思いました。

「大谷選手の言っていることは、こういう気持ちになることかもしれないね。」と母が言いました。ごみ拾いをするすることで、大谷選手のようなプレーができるわけではないけれど、大好きな大谷選手に少しだけ近づけたような気がしました。

ごみ拾いだけでなく、親切にすることは、お礼を言われたり、ほめられたりすることだと思っていました。でも、大谷選手の言葉で、ぼくの考えは一変しました。親切な行いをするとは、誰かを助けたり、よろこばせたりするだけではなく、自分のためにもなるということが分かりました。すすんで良いことをするときは、少し照れくさかったり、迷ったりすることもあります。

そんなときは、「自分に運をよびよせるんだ」と思って、自信をもって、一歩をふみだせるようになりたいと思います。